

令和4年度(2022年度)10月16日

居住者各位

越谷ファミリータウン自衛団
本部長 岩下 静司

令和4年度(2022年度) 秋の防災訓練終了のご報告

令和4年10月16日(日)、秋の防災訓練が谷中消防署のご協力により無事終了致しました。

午前10時、震度6強の地震が発生した想定で、構内一斉放送を合図に自衛団員が自分の持ち分のブロック内の住民の安否を聞きに廻り、各棟で1名の負傷者を発見し、救援救助係の自衛団員が負傷者を担架(もしくは車椅子)に乗せて搬送するという訓練からスタートしました。救助された方と搬送に加わって集会室に集まった方々を対象に、消防署員による応急手当訓練を行いました。

その後、地震による火災が発生したという想定で、決められたお宅から出火したことを知らせるブザーと玄関先のランプ点灯を見つけた消火係の方々が、出火したお宅に消火器を持ち寄り駆け付けるとい消火活動初動訓練を行いました。出火したお宅の1軒からは、実際に消防署に火災通報する通報訓練も同時に行い、無事鎮火したことを確認致しました。安否確認訓練で安否が確認できた住民(留守、不在者を除き)は、全棟で803人でした。

安否確認と消火活動初動訓練が終了したあと、避難・誘導訓練に移り、訓練場所の「市の広場」に全員が集合致しました。訓練会場に集合した人数は、総勢113名を数え、消防署員の指導で水消火器(近隣への影響を考慮して最近では水消火器を使用)による消火訓練を行いました。火元の的に消火器の筒先を向け、水を噴射した訓練です。皆さん、真剣な顔つきで消火活動に当たりました。

消火訓練のあとは、「いちよの広場」に移動して、はしご車による屋上からの救助訓練に移りました。コロナ感染防止の観点から、はしご車のケージには、住民は乗せず、消防隊員のための救出となりましたが、屋上から救助される隊員を下から見上げて無事地上に降り立った時は、一同から拍手が起こりました。同時に実施していた炊き出し訓練で出来上がった非常食を参加者全員にお配りし、持ち帰って頂きました。

最後に、今回ご協力とご指導を頂いた谷中消防署の田中小隊長様から訓練全体のご講評を頂いて、一連の訓練を終了致しました。

以上



はしご車による屋上からの救助訓練



「市の広場」への避難・誘導訓練



炊き出し訓練

<ご参考>



越谷市総合防災ガイドブックは、越谷市の災害リスクと災害への備えに関する情報などを一冊にまとめています。

自然災害は、いつ、どこで発生するか分かりません。

「自分の命は自分で守る」という意識を持ち、日頃から「自分でできること」、「家族でできること」、「ご近所と力を合わせてできること」などについて考え、災害に備えておくことが大切です。

不要になった消火器は？（現在、消防署では受け付けておりません）

1. 「[消火器リサイクルセンター](#)」に登録した業者に持ち込み、有償で廃棄が出来ます。

「エアゾール式消火具」や「外国製消火器」は対象外ですのでご注意ください。

個別の回収・持ち込みの際は、必ず事前に各窓口へお問い合わせください。

※事前に連絡がなく持ち込まれた場合は、引き取り対応ができないことがありますのでご注意ください。

例) セコム株式会社 越谷オフィス 048-961-6335 3,240 円 / 本～

株式会社中央ビル管理 048-990-7752 4,860 円 / 本～

2. 買い替え時に無料で引き取っていただけます。

例) ロジャース越谷店 048-969-1234 (消火器を1本購入した場合、1本廃棄いただけます)

詳しくは、直接お問い合わせください。